

# 経営比較分析表

京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.99	82.26	2,224

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54,340	7.72	7,038.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54,465	6.47	8,418.08

## グラフ凡例

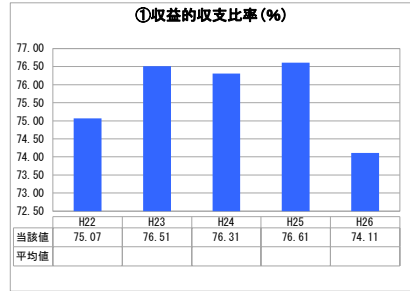
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 分析欄

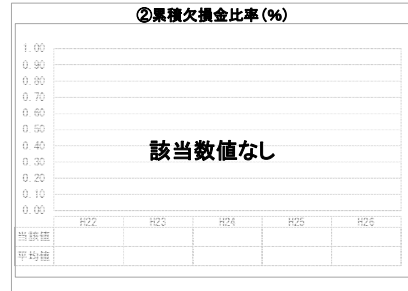
### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%未満であり、一般会計からの繰り入れに依存していることから、下水道使用料の収納率向上と不納欠損額の減少等による経営改善に努めているところである。起債残高対事業規模比率は類似団体と同程度であるが、本市の汚水事業はすでに整備が完了しており、新たに整備を行う必要もないことから今後は企業債残高は減少していく。経費回収率は類似団体と比べ低いことから、人件費の削減や管渠の長寿命化による汚水処理費の削減や適正な使用料収入の確保が必要。

### 1. 経営の健全性・効率性



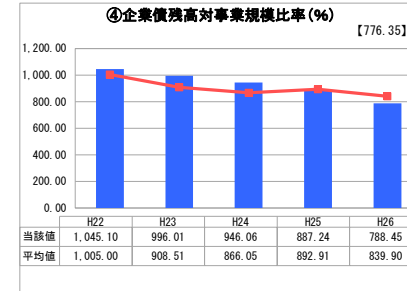
「単年度の収支」



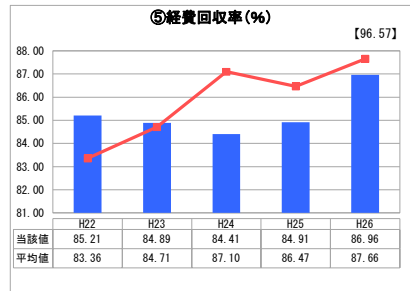
「累積欠損」



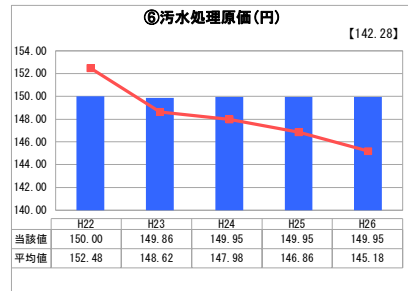
「支払能力」



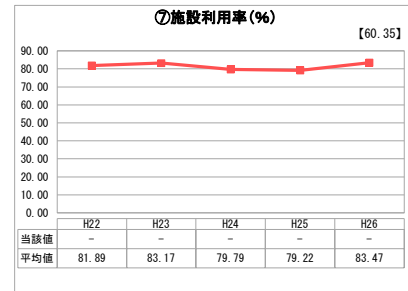
「債務残高」



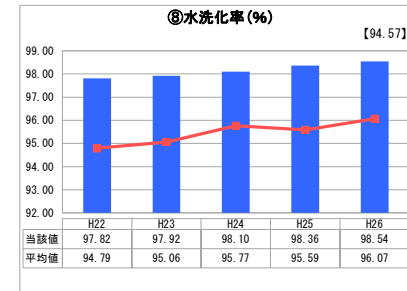
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

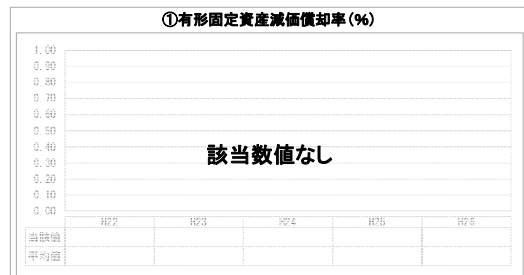


「施設効率性」

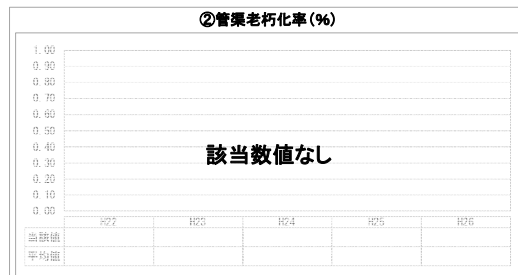


「使用料対象の捕捉」

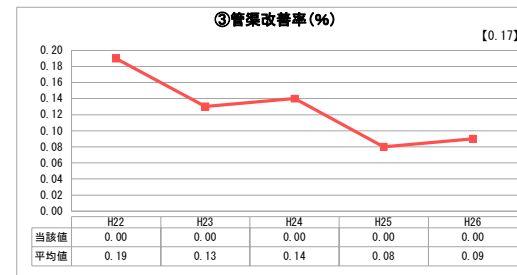
### 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

### 2. 老朽化の状況について

本市の下水道管渠はすべて標準耐用年数に達しておらず、また点検結果からも管渠の健全度を有している状態である。本市では点検や維持補修等による下水道管渠の長寿命化事業に取り組んでいる。

### 全体総括

本市の歳出の大部分が起債償還金であるが、本市の汚水事業はすでに整備が完了している状態であり、新たに整備を行う必要もないことから今後は起債償還金は減少していく。しかしながら経費回収率が類似団体と比べ低いことから、汚水処理費の削減、より低金利の企業債への借換や、適正な下水道使用料の検討、未水洗世帯への水洗化の指導等積極的な経営改善を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。